

平成30年度小グループ自主的取組支援事業実績報告

No.	代表者名	補助対象事業名	企画提案事業名	事業報告
1	山村 桂	商店街魅力創出事業	外国人向け多言語メニュー作成事業	<p>増加傾向にある外国人観光客の受入体制を整えるため、甲府中心商店街の飲食店7店舗のメニューを多言語化した。</p> <p>メニューの翻訳にあたっては、各店舗のメニューの中から、人気のある6～8メニューを指定して最大3言語まで翻訳した。使用する食材によってはピクトグラム等を使用するなど、ベジタリアンやヴィーガンなど食文化に多様性のある人たちへの対応も図った。</p> <p>また、外国人観光客を各店舗へ誘客するため、旅行サイト「トリップアドバイザー」への施設登録を行ったほか、グーグルマップと連動したQRコードを掲載したチラシを作成し、観光案内所等へ設置した。</p>
2	藤川 浩司	買い物弱者支援事業	中心商店による宅配サービス事業	<p>地元商店街とJR甲府駅北方面を中心とした福祉施設利用者などが繋がる機会を創造するため、宅配サービスによる買い物弱者支援事業に取り組んだ。</p> <p>事業開始にあたり、事前に福祉施設利用者へアンケートを実施した。施設内では買物機会を希望する声が多く、衣料・雑貨・靴などの小物の希望が特に多かった。</p> <p>また、アンケート結果を踏まえてカタログの作成を行い、複数の福祉事業所に配布したがおおむね好評であった。また、福祉事業所の利用者がカタログを見た後に実際の店舗を訪れるなど、十分な買い物機会がない方に対し、買い物の機会を創出できた。</p>
3	秋山 盛富	商店街魅力創出事業	「高校生が探る、高校生が伝える」中心市街地の魅力発信事業	<p>甲府商業高校マーケティング部の生徒が、甲府中心市街地を支える「人や仕事」に着目しながら、普段の生活では知ることができない様々な街の魅力を探っていく事業を実施した。</p> <p>街歩きなどを通じて生徒たちが気になる人やお店をピックアップした店舗に対し、7チームに分かれてインタビューや写真撮影を行い、文章と写真を合わせた記事として発信していくための編集作業を行い、記事を発信するWEBサイト「MEkke」を立ち上げた。</p> <p>さらに、事業を通じて得たこと、見つけた地域の魅力、取材した人びとのことをプレゼンテーションする報告会を商店街で行った。報告会には10名の参加があった。</p> <p>WebサイトURL https://kosho-mekke.com/</p>
4	三森 なぎさ	情報発信事業	”A Map for You”ベジタリアン、ムスリム、アーティストの為のweb地図プロジェクト	<p>甲府を訪れるベジタリアン、ムスリム、アーティストの人たちに安心して外食や買い物を楽しんでもらうため、ウェブ地図を製作して、店舗情報等を発信し、将来的に甲府市が地方国際都市となり、街を訪れる人と、地元商店街や飲食店とが繋がるシステムを構築した。</p> <p>店舗情報を発信するため、グーグルマップを活用した専用サイトを作成し、サイトのQRコードを記載したプロジェクトカードを作成し、観光案内所やイベント等で配布した。サイトには、対象メニュー等の英訳化したほか、食事以外で気軽に立ち寄れる公共施設やアートギャラリーなどの情報も掲載した。</p> <p>また、ムスリムの学生の為のメニューを設ける市内大学や、留学生等にもプロジェクトカードを配布したことで、多くの外国人観光客や在日外国人がカードを手に掲載店舗を訪れた。</p> <p>WebサイトURL https://sites.google.com/view/amapforyou</p>
5	武藤 慎一	調査・分析・計画策定事業	大学生の中心商店街に対する意識調査事業	<p>大学生を対象に中心商店街にどのような機能を求めているのか、その機能を提供するには何が必要かをアンケート調査を実施し、その結果を報告書へまとめ、中心市街地の方々へ提供した。</p> <p>また、調査結果から、スマートフォンなどを通じて簡便に得られる情報の充実化、甲府中心商店街にしかない魅力の発掘とそれを大学生に体感させる取組みが必要であることから、次年度以降、大学の授業をとおして中心市街地の活性化策を実践していく。</p>
6	豊木 博泰	調査・分析・計画策定事業	Wi-Fiパケットセンサによる歩行者の流れの連続的な計測	<p>中心街に歩行者の起点、目的地となる施設、観光スポット、街路にWi-Fiパケットセンサを設置し、Wi-Fi機能を有するスマートフォンなどの端末を携帯した通行者の流れを観測する。長期的なデータ分析を行うことで、市街地活性化に資する施策の提案等に貢献する事業を実施した。</p> <p>実証として、独自に製作したセンサと通信、データ処理プログラムにより継続的な観測を行った。観測結果から、甲府市中心街歩行量調査結果との比較により、実数の推定がかなりの精度で行えることがわかり、市街地や観光地での訪問者の流動解析に役立てられることを示した。</p> <p>通行量、地点間流動量のデータはWeb上でいつでも閲覧できるように公開していて、これを継続していく。</p> <p>また、結果報告書を作成し、完成に合わせて報告会を開催した。報告会には20名以上の参加者があり、活発な意見交換があった。</p> <p>WebサイトURL http://8tops.yamanashi.ac.jp/kofu/</p>